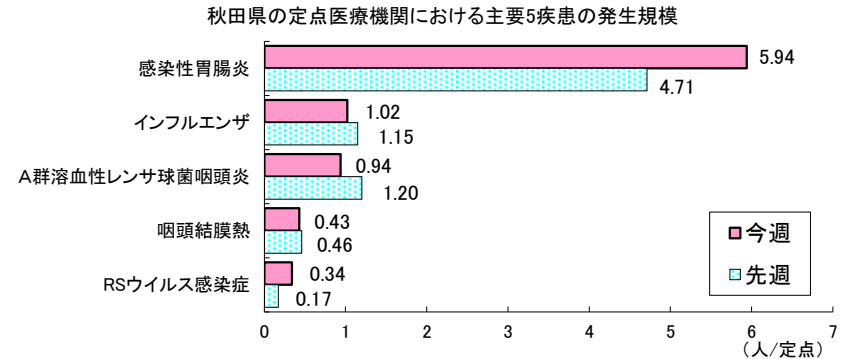




【第20週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. 感染性胃腸炎は、県全体で26%増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、能代、由利本荘、横手、湯沢で増加、秋田中央、大仙で減少しています。
2. インフルエンザは、県全体で11%減少しています。保健所別では、大館、横手で増加、秋田市で同規模、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で22%減少しています。保健所別では、秋田市、湯沢で増加、由利本荘、横手で同規模、北秋田、秋田中央、大仙で減少しています。



発生報告

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢			
	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減				
RSウイルス感染症	0.17	0.34	↗		0.29	↗	1.25	2.00	↗							0.25	0.50	↗													
インフルエンザ	1.15	1.02	↘	0.91	0.91		3.29	3.71	↗				0.75		↘	0.33		↘	0.17		↘	1.00	0.43	↘	1.20	2.40	↗	2.00	0.80	↘	
咽頭結膜熱	0.46	0.43	↘	0.14	0.43	↗	0.50	0.25	↘	0.50	1.00	↗							2.50	1.50	↘	0.50	0.50							0.25	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.20	0.94	↘	1.71	1.86	↗				1.50		↘				4.00	2.50	↘	0.25	0.25		1.00	0.25	↘	0.33	0.33		1.25	1.75	↗	
感染性胃腸炎	4.71	5.94	↗	6.14	9.14	↗	9.25	12.50	↗	1.50	2.50	↗	5.00	7.67	↗	5.00	2.25	↘		2.25	↗	3.25	2.75	↘	3.67	4.00	↗	5.75	6.25	↗	
水痘	0.20	0.17	↘	0.57	0.14	↘		0.25	↗					1.00	↗	0.25		↘	0.50		↘								0.25	↗	
手足口病																															
伝染性紅斑																															
突発性発しん	0.23	0.29	↗	0.29	0.29		0.50		↘							0.50	0.25	↘		0.75	↗	0.25	0.25			1.00	↗	0.25		↘	
ヘルパンギーナ																															
流行性耳下腺炎	0.11	0.14	↗	0.14	0.29	↗		0.25	↗													0.50	0.25	↘	0.33		↘		0.25	↗	
川崎病	0.06		↘				0.25		↘																0.33		↘				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*		
流行性角結膜炎	0.57	0.29	↘	1.00	0.67	↘				*	*		*	*		*	*								1.00		↘	*	*		
細菌性髄膜炎																*	*														
無菌性髄膜炎																*	*														
マイコプラズマ肺炎	1.13	1.75	↗							5.00	4.00	↘				*	*		1.00		↘	2.00	6.00	↗		3.00	↗	1.00	1.00		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.25	0.75	↗	1.00		↘		4.00	↗							*	*								1.00	1.00			1.00	↗	

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-19週		20週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ベスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	7405	41	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
三類	コレラ		2	
	細菌性赤痢		69	
	腸管出血性大腸菌感染症		319	
	腸チフス		17	
	バラチフス		9	
四類	E型肝炎		144	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎		262	
	エキノкокクス症		3	
	黄熱			
	オウム病		3	
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱		1	
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群		17	
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	タニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-19週		20週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	58		
	デング熱	35		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	29		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	2		
	マラリア	15		
五類	野兔病			
	ライム病			
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	376	1	
	レプトスピラ症			
	ロッキー山紅斑熱			
	アメーバ赤痢	282		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	61	1	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	576	3		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	3			
急性脳炎	305	3		
クリプトスポリジウム症	6			
クロイツフェルト・ヤコブ病	70			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	305	4		
後天性免疫不全症候群	425			
ジアルジア症	28			
侵襲性インフルエンザ菌感染症	174	1		
侵襲性髄膜炎菌感染症	15			
侵襲性肺炎球菌感染症	1527	10		
水痘(入院例に限る。)	144	4		
先天性風しん症候群				
梅毒	2157	3		
播種性クリプトкокクス症	62			
破傷風	26			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	16			
百日咳	1380	13	1	
風しん	17			
麻しん	149			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	7			

トピックス

<6月1日～7日はHIV検査普及週間です！>



毎年、6月1日から6月7日はHIV(ヒト免疫不全ウイルス)検査普及週間に指定されており、国や各自治体では検査の普及に向けた取組を行っています。秋田県も「だから受けよう！エイズ検査～あなたと大切な人を守るために～」をキャッチフレーズに、各保健所において街頭キャンペーンやエイズ相談・検査を実施します(表)。

血液や体液を介してHIVに感染すると、数週間後に風邪のような症状が一時的に現れることもあります。その後は自覚症状に乏しいため、感染に気付かないまま経過します。しかし数年～10数年後、突然エイズ(後天性免疫不全症候群)を発症し、免疫力の低下から通常であれば問題とならないような感染症にかかりやすくなり、命に関わる場合もあります。

検査は県内の各保健所で**無料・匿名**で受けることができます。あらかじめ電話で予約の上、相談者ごとに調整した時間に個別に相談・検査を実施します。採血から結果説明まではおよそ1時間程度です。また、この期間以外にも各保健所では定期的に相談日を設定しているほか、県内エイズ治療拠点病院でも検査を受けられます(有料:1,500円程度)。詳しくは秋田県保健・疾病対策課のウェブサイト等でご確認ください。

平成30年3月に発表されたエイズ動向委員会の速報値によると、平成29年の全国のHIV感染者・エイズ患者新規報告数は1,407人で、このうち約3割が診断時に既にエイズを発症していました(図)。早期発見・早期治療によりエイズ発症を防ぐことができれば、これまでどおりの日常生活を送ることが可能です。この機会にぜひ検査を受けてみませんか？

表 県内保健所の相談・検査実施日(平成30年6月)

保健所	実施日	問い合わせ先
秋田市保健所	6月4日(月)	018-883-1180
	6月12日(火)	
	6月21日(木)	
大館保健所	6月28日(木)	0186-52-3952
	6月20日(水)	
北秋田保健所	6月7日(木)	0186-62-1166
	6月26日(火)	
能代保健所	6月12日(火)	0185-52-4333
	6月19日(火)	
秋田中央保健所	6月18日(月)	018-855-5170
	6月25日(月)	
由利本荘保健所	6月5日(火)	0184-22-4122
	6月19日(火)	
大仙保健所	6月6日(水)	0187-63-3404
	6月20日(水)	
横手保健所	6月11日(月)	0182-32-4006
	6月19日(火)	
湯沢保健所	6月5日(火)	0183-73-6155
	6月20日(水)	

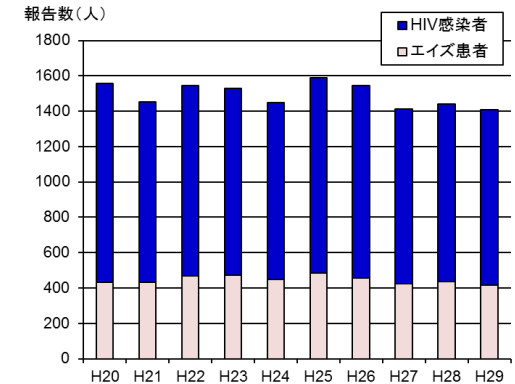


図 全国のエイズ患者およびHIV感染者数の推移(エイズ動向委員会発表、平成30年3月16日時点)

※相談・検査は、この期間以外にも年間を通じて実施しています。定期的に相談・検査実施日を設けていますので、上記問い合わせ先や、秋田県健康福祉部保健・疾病対策課ウェブサイトでご確認ください。



2017年/2018年シーズン (2017年第36週: 9月4日～) インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

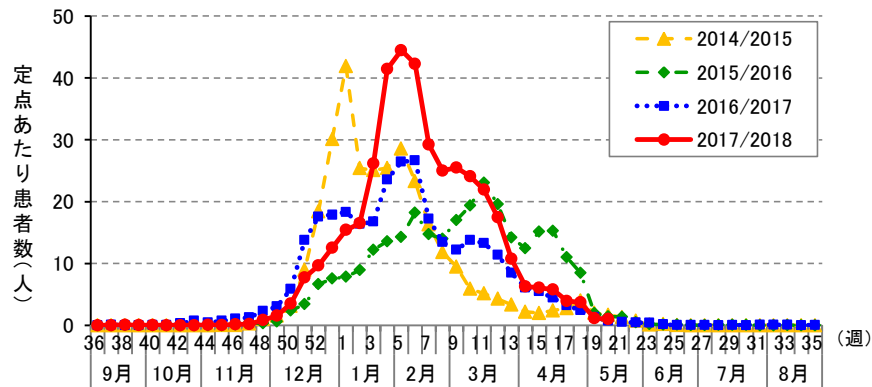


図: 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が2件報告されました。

所在地	施設名称	発生届出日	有症者数
大館	鹿角中央病院デイサービスセンター	5/18	利用者174名のうち24名 職員26名のうち5名 計29名
大館	花輪さくら保育園	5/22	園児176名のうち9名 職員45名のうち1名 計10名

○今シーズンの報告状況

累計施設数 170: 社会福祉施設 44、保育所 119、病院 7

<参考>

○昨シーズンの報告数

累計施設数122: 社会福祉施設63、保育所・幼稚園46、病院13

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2017/2018シーズン

秋田県および全国におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
5/14～5/20 (20週)	累計	5/7～5/13 (19週)	累計
2	399	43	20,706

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8カ所、全国約500カ所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

インフルエンザ様疾患集団発生(集団かぜ)の状況

インフルエンザ様疾患集団発生(集団かぜ)の報告はありませんでした。

○今シーズンの措置状況

累計施設数 472: 休校・休園 20、学年閉鎖 247、学級閉鎖 205

<参考>

○昨シーズンの措置数

累計施設数 300: 休校・休園 18、学年閉鎖 147、学級閉鎖 135

※同一施設で同一週(月曜日～日曜日)に休校、学年閉鎖、学級閉鎖をした場合は、休校>学年閉鎖>学級閉鎖の順位で1とカウントしています。



感染性胃腸炎情報

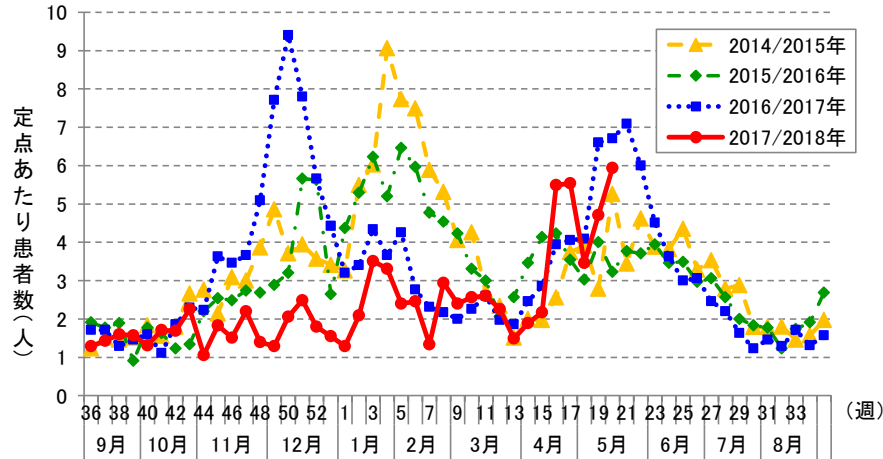


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

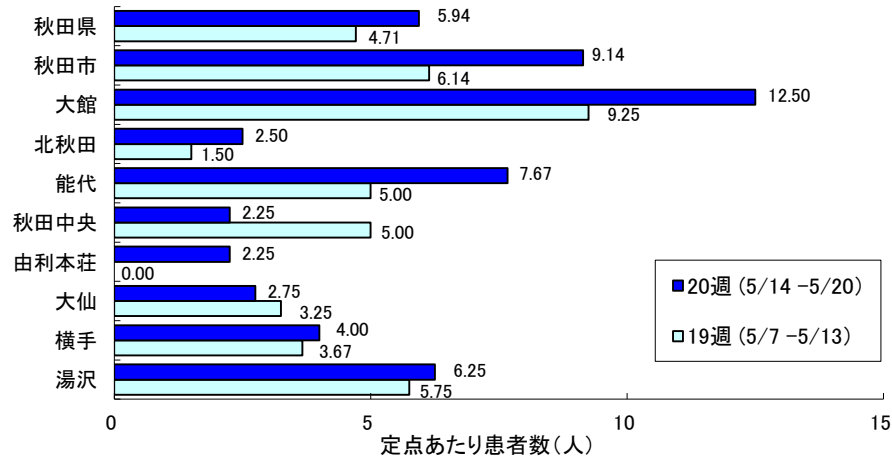


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が4件ありました。

No. 13

発生届出日 平成30年5月17日
 受付保健所 横手保健所
 施設名称 十文字保育所
 有症者数 園児144名のうち12名
 職員31名のうち2名 計14名
 把握期間 5月11日から5月17日まで
 症状 嘔吐、下痢、嘔気、発熱
 検査状況 4名からノロウイルスを検出

No. 15

発生届出日 平成30年5月18日
 受付保健所 大仙保健所
 施設名称 大曲乳児保育園
 有症者数 園児67名のうち10名
 把握期間 5月14日から5月18日まで
 症状 嘔吐、下痢
 検査状況 3名からノロウイルスを検出

No. 17

発生届出日 平成30年5月22日
 受付保健所 大仙保健所
 施設名称 仙南すこやか園
 有症者数 園児187名のうち17名
 職員58名のうち1名 計18名
 把握期間 5月18日から5月22日まで
 症状 嘔吐、下痢、嘔気、発熱
 検査状況 18名のうち9名からノロウイルスを検出

No. 14

発生届出日 平成30年5月18日
 受付保健所 大館保健所
 施設名称 大館市立城南保育園
 有症者数 園児135名のうち13名
 把握期間 5月14日から5月18日まで
 症状 嘔吐、下痢、発熱
 検査状況 2名からノロウイルス、
 1名からロタウイルスを検出

No. 16

発生届出日 平成30年5月22日
 受付保健所 大館保健所
 施設名称 宮の社神明こども園
 有症者数 園児120名のうち16名
 把握期間 5月17日から5月21日まで
 症状 嘔吐、下痢、発熱
 検査状況 3名からロタウイルスを検出

★感染性胃腸炎の集団発生状況

平成30年度 17施設 発症者 263名
 <保育所・幼稚園17>

【参考】

平成29年度 42施設 発症者 637名
 <社会福祉施設 8、保育所・幼稚園 34>

※原則、10人以上または
 利用者の半数以上の
 発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	4	7	4	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		